

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
臨床検査学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
科目名	微生物検査学各論 I Clinical Microbiology I					
担当教員	◎小松方 阿部教行 中村彰宏					
目的	微生物検査学総論で習得した細菌のうち、好気性菌、通性嫌気性菌、偏性嫌気性菌について学ぶ。それぞれに属する病原細菌の形態学的特徴、生化学的特徴、代謝、病原性などの基礎的事項を応用し、病原微生物の感染様式、その感染により引き起こされる感染症の特徴と検査法、抗菌薬選択法および予防について学ぶ。					
目標	1. 人に感染症を引き起こす細菌、特に好気性菌、通性嫌気性菌、偏性嫌気性菌に分類し、それぞれの特徴、感染症との関連、および臨床微生物学的検査方法について理解する。 2. 病原微生物の形態、培養法、生化学的性状、抗原性を理解し、臨床検査への応用を理解する。 3. 病原微生物と感染様式および治療方法を理解する。					
他科目との関連	微生物検査学総論、微生物検査学各論II、微生物検査学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	JAMT技術教本シリーズ 臨床微生物検査技術教本 (ISBN978-4-621-30086-2) 1回生の微生物検査学総論で使用した教科書をそのまま使用します。					
参考資料	微生物学・臨床微生物学—ガイドライン対応 臨床検査知識の整理 医歯薬出版 臨床微生物検査ハンドブック第3版 三輪書店					
備考 (受講上注意、事前学習等)						